

第6次国有林野施業実施計画書

(中越森林計画区)

自 令和5年4月1日
計画期間
至 令和10年3月31日

関東森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	林道等の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	8
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	9
(1)	保護林の名称及び区域	9
(2)	緑の回廊の名称及び区域	11
6	レクリエーションの森の名称及び区域	13
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	23
8	その他必要な事項	24
(1)	施業指標林、試験地等	24
(2)	フィールドの提供	26
(3)	森林共同施業団地	26
(4)	その他	27
附属参考資料		
(1)	国有林野の現況	29
(2)	機能類型別の国有林野の現況	31
(3)	林道等の現況	32
(4)	収穫予想表	32
(5)	地元施設等の現況	32

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別冊「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積 ha、伐期齢 年)

施業群	細分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
	カラマツ分散伐区	370.68	〃	55
長伐期	スギ長伐期	394.03	〃	100
	カラマツ長伐期	72.85	〃	80
複層林	スギ複層林	973.69	〃	60～120
	その他複層林	45.91	〃	55～110
天然林・その他	ぼう芽分散伐区	11.57	〃	25
	天然林複層伐区	5,391.14	〃	70
	択伐	15,823.66	〃	回帰年は定めない
	その他	145.73	〃	定めない
設定外(注1)		358.87		定めない
合計		24,712.70		

(注) 1. 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。

2. 面積は林地面積を計上している。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	上限伐採面積	備考
通常伐期	128	スギ分散伐区 (94) カラマツ分散伐区 (34)
長伐期	25	スギ長伐期 (20) カラマツ長伐期 (5)
複層林	86	スギ複層林 (81) その他複層林 (5)
天然林・その他	1,984	ぼう芽分散伐区 (2) 天然林複層伐区 (385) 択伐 (1,582) その他 (15)
合計	2,223	

(注) 備考欄は、施業群の細分で () は細分個々の上限伐採面積である。

(4) 伐採総量

(単位：m³)

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	11,556	27,453 (301.16)	39,009				
自然維持タイプ	—	—	—				
森林空間利用タイプ	4,902	12,653 (135.30)	17,555				
水 源 涵 養 タ イ プ	通常 伐期	スギ分散伐区	7,824	21,213	29,037		
		カラマツ分散伐区	10,638	1,100	11,738		
	長 伐期	スギ長伐期	—	4,520	4,520		
		カラマツ長伐期	—	—	—		
	複 層 林	スギ複層林	—	2,826	2,826		
		その他複層林	—	—	—		
	天 然 林 ・ そ の 他	ぼう芽分散伐区	—	—	—		
		天然林複層伐区	—	256	256		
		択 伐	—	794	794		
		そ の 他	—	376	376		
	設 定 外	22,465	135	22,600			
	計	40,927	31,220 (354.20)	72,147			
	合 計	57,385	71,326 (790.66)	128,711	7,000	135,711	—
年 平 均	11,477	14,265 (158.13)	25,742	1,400	27,142	—	27,142

(注) () は、間伐面積(ha)である。

(再 掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市 町 村 名	林 地				林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量		
長 岡 市	—	—	—			
三 条 市	7,247	18,578	25,825			
十 日 町 市	2,242	6,443	8,685			
魚 沼 市	—	7,104	7,104			
南 魚 沼 市	6,724	5,658	12,382			
湯 沢 町	41,172	32,540	73,712			
津 南 町	—	1,003	1,003			
合 計	57,385	71,326	128,711			

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工造林	単層林造成	—	—	—	—	108.60	108.60
	複層林造成	66.48	—	20.09	—	—	86.57
	計	66.48	—	20.09	—	108.60	195.17
天然更新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	—	—	—	—	—
	ぼう芽	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—
合 計		66.48	—	20.09	—	108.60	195.17

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	61.83	—	19.28	—	294.63	375.74
	つ る 切	—	—	2.96	—	56.32	59.28
	除 伐	—	—	2.96	—	58.82	61.78

3 林道等の整備に関する事項

基幹・ その他別	開・設 改・良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
そ の 他	開 設	西ノ沢 (林業専用道)	413	1,006	
		大谷野々倉 (林業専用道)	413	3,100	
		カッサ (林業専用道)	23	820	
		萱付 (林業専用道)	94・95	1,300	
		土樽毛渡沢 (林業専用道)	123	850	
	小 計	5 路線		7,076	
	改 良	網張山	402	20	
		大谷	411外	200	
		大谷林道野々倉支線	412	100	
		西ノ沢	413	20	
		小松原	1外	206	
		田代	8外	50	
		田代支線	9	20	
		田代第1支線	9	20	
		田代第2支線	9	20	
		田代第3支線	9	20	
		三多古	9外	50	
		三多古支線	9外	20	
		足尾沢	15	20	
		当間	107外	20	
		当間支線	107外	20	
		小松原小赤沢	302外	145	
		小松原林道秋山線	302外	50	
		北ノ又	253	92	
		大白川	213・214	115	
		大白川左沢	214外	50	
		大白川右沢	216外	50	
夕沢		221外	100		
奥添地	140外	50			
飯土山	140外	20			
高石沢	16外	50			
樺の沢	19外	20			
カッサ	21外	20			

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

基幹・その他別	開・設 改・良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
そ の 他	改 良	カッサ林道カッサ支線	21外	20	
		苗場赤湯(苗場山)	21外	100	
		苗場赤湯(苗場山)林道外の川支線	22	20	
		苗場赤湯(苗場山)林道鉢巻支線	22外	20	
		苗場赤湯(苗場山)林道祓川支線	26外	20	
		苗場赤湯(棒沢)	31外	100	
		苗場赤湯(棒沢)林道棒平支線	42	50	
		苗場赤湯(赤湯)	69外	50	
		苗場赤湯(赤湯)林道赤湯支線	71	20	
		苗場赤湯(赤湯)林道大栃沢支線	40	20	
		北の入	81外	20	
		北の入林道北の入支線	82	20	
		岩魚沢	86	30	
		岩魚沢林道岩魚沢第1支線	86外	20	
		岩魚沢林道岩魚沢第2支線	86外	20	
		苗場ふれあいの郷	84外	20	
		二居	92	50	
		二居林道せんの沢支線	91外	50	
		通四郎	92外	20	
		松手山	90外	50	
		せんの沢林業専用道	90	20	
		せんの沢林業専用道せんの沢支線	90	20	
		萱付	93外	20	
		萱付林道萱付支線	94	20	
		土樽(水無)	97外	20	
		水無	99	20	
		土樽(土樽)	119外	50	
		土樽毛渡沢	122外	20	
		蓬	133	20	
		高倉山(日出山)	308外	20	
		高倉山	310	20	
		高倉山(屈岨)	310	20	
	小 計	59路線		2,558	
計	開 設	5 路線		7,076	
	改 良	59路線		2,558	

4 治山に関する事項

位 置 (林 班)	市 町 村	区 分	工 種	計 画 量	
216	魚 沼 市	保安林の整備	本数調整伐	33ha	
411、412	三 条 市			34ha	
24、26、36、73	湯 沢 町	保安施設	溪 間 工 山 腹 工	4か所 2か所	
114、153	南 魚 沼 市		溪 間 工	5か所	
214、217、260、261	魚 沼 市		溪 間 工 山 腹 工	4か所 2か所	
411、412	三 条 市		溪 間 工 山 腹 工	4か所 1か所	
合 計			保安林の整備		67ha
			保安施設		22か所

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

原生的な森林生態系からなる自然環境、地域固有の生物群集を有する森林及び希少な野生生物の生育・生息に必要な森林の保護・管理を目的として、下記のとおり保護林を設定しており、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護・管理を図っていくこととする。

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
森林生態系 保護地域	佐武流山周 辺	保存地区 1,819.46	49～53 全 54 い 55 い 56 い 57～58 全	佐武流山周辺は、日本海側の森林植生から太平洋側の森林植生への推移帯にある原生的な森林であり、植物相、植生ともに豊富である。また、亜高山帯ではオオシラビソを主体にした森林とチシマザサの風衝草原や自然低木群落、山地帯ではコメツガ、トウヒ、クロベなどの針葉樹林とブナ林が分布している森林である。	
		保全利用地区 2,134.07	46～48 全 54 ろ 55 ろ 56 ろ、イ 59～61 全 63～64 全		
	利根川源流 部・燧ヶ岳 周辺	保全利用地区 8,432.00	159 全 161～163 全 270～277 全	利根川源流部・燧ヶ岳周辺は、亜高山帯にはオオシラビソ群落、山地帯にはチシマザサーブナ群団が広がり、雪蝕地形にはウラジロヨウラクーミヤマナラ群団、やせ尾根や岩尾根にはアカミノイヌツゲクロベ群集、稜線にはチシマザサ草原が分布しているほか、平ヶ岳周辺の稜線付近では、コメツガ群落、オオシラビソ群落、雪田植物群落、湿原植生が分布し、丹後山では山腹斜面にブナ群落、尾根上部には自然低木群落分布する森林である。	
計	2か所	12,385.53			

生物群集 保護林	小松原湿原	保存地区 1,498.84	1 く～け、ロ 2 か3、た1～イ、 ロ2～ロ4 3 へ、と、ち2、 ロ2、ロ3 4 ろ～と 5 な、ら 6 全 15 は～ほ 302 か 303 こ 304 全	ヌマガヤイボミズ ゴケ群集からなる保存 状態の良い中間湿原が 形成され、湿原の周囲 には、オオシラビソ群 落、ブナ群落広が り、極めて多様性の高 い植物相が形成されて いる森林である。
	守門岳	保存地区 1,778.26	205 へ 206 ぬ 207 へ 208 い～は、る、 イ 212 は 213 ぬ 405 ろ～に 409 に 419 イ 437 全	守門岳一帯は、豪雪 地帯であり多雪に適応 して様々な形態を示す ブナ群落を主体に、ミ ズナラが混生したブナ 群落や、ヒメコマツの 点在するブナ群落な ど、優良な天然生の広 葉樹林が広がる森林で ある。
計	2か所	3,277.10		
希少個体群 保護林	楢橋ブナ 遺伝資源	17.60	418 い	多雪地帯において良 好に生育している裏日 本型東北・北海道型ブ ナの自生地である。
	笠掘 カモシカ	5,267.41	436 全	笠掘ダムの上流部に 広がるチシマザサ・ブ ナ群団、ブナ・ミズナ ラ群落、クロベ・ヒメ コマツ群落、自然低木 群落、自然裸地などの 多様な天然林である。
	雨生池 アマゴイル リトンボ	12.75	411 と、ロ	雨生池の周囲には、 希少なアマゴイルリト ンボが生息し、周辺は ブナ、ミズナラを主体 とする多様な天然林で ある。
計	3か所	5,297.76		
合計	7か所	20,960.39		

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林から除外するべき区域（貸付地等）を除外した面積である。

(2) 緑の回廊の名称及び区域

緑の回廊は、より広範で効果的な森林生態系の保護・保全に努めるため野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促すことが適当と認められる国有林野を選定することとして、下記のとおり設定する。

名 称	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
緑 の 回 廊 越 後 線	56	12,656.82	213 い〜り、 イ1〜ロ 214 り、わ1〜よ、 イ 215 全 216 や、ロ1、ロ2 218 ロ1、ロ2 219 イ1、イ2 220 イ 222 わ、ハ 225 い1〜か、 ロ1〜ハ 226 い〜ぬ 227 い1〜ろ、ロ 228 全 233 い 234〜235 全 238 全 239 い〜に 240 い〜に 241 い〜ち 242 い1〜よ2 243 い1〜に、 ほ6〜か、ロ 253 い1〜ね2 254 全 256 い1〜よ、 ロ1〜ハ4 257 ろ 258 ろ 278〜279 全 421 全 423〜424 全 425 に1〜イ3	利根川源流部・燧ヶ岳 周辺森林生態系保護地域 と越後山脈生物群集保護 林を結ぶ越後山脈沿いの 天然生林の多い地域であ る。	
緑 の 回 廊 三 国 線	56	7,443.11	62 い1〜イ2 76 い1、ろ1、 は、イ 77 は2〜は4、ほ1 〜へ 78 に1〜イ 79 り1〜ぬ3 80 と〜る2	利根川源流部・燧ヶ岳 周辺森林生態系保護地域 と佐武流山周辺森林生態 系保護地域を結ぶ三国山 脈沿いの天然生林の多い 地域である。	

			81 ほ～ち 82 ほ、と、る2～ か、れ～イ 85 ろ～イ 86 り1～イ 87 ち～ぬ、イ 90 ね1～な 121 よ2、ロ 122 よ2～イ1 123 ぬ1～イ4 124 れ～つ2 127 に～イ3 128 全 130 ハ 131 わ1～か、ロ 1、ロ2 132 は～イ 136 り～イ4 144 ろ～ほ、ロ 1、ロ2 145 い1～ち2、ロ 1～ロ3 146 全 147 り1～イ5、ハ 148 そ1～イ 149 る3、る5～か 2 149-1 い、ろ、ロ 1、ロ2 156 イ2、イ3 157 は～と、イ4 ～イ8		
合 計	112	20,099.93			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の緑の回廊の面積は、緑の回廊から除外すべき区域（貸付地等）を除外した面積である。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然休養 林	苗木 苗場	2,139.93	21 は、ほ1、ほ2、ほ5 22 わ、ら2 23 ほ2、と1～ち、り2、 ぬ、わ1、わ2、よ1、 た 24 に3、に4 26 ろ～は2 27 ろ、は1、に～へ、る1、 わ、た、そ、ね1～ね4 65 い1	苗木山の東面一帯は、 原生林的な森林景観を 有している。 台地状をなす苗木山 頂には、無数の池塘を 有し、モウセンゴケ・ ヤチスゲ・カワズスゲ 等の湿原植物が見られ 自然観察、自然探勝等 に適している。 また、棒沢山の東麓 にはスキー場の施設が 整備され、四季を通し て地域住民はもとより 首都圏からの利用客が 多い。	育成複層林 へ導くため の施業（以 下「育成複 層林施業」 という。） 間伐面積 4.45ha	実施主体：民間 ・リフト等 ・バス停 ・その他施設 実施主体：湯沢町 ・公衆便所	国が実施 する施設整 備の計画な し	
		556.83	21 い2、い3、い5、い6、 に1～に5、ほ4、 へ～り、よ1 22 る2、る3、れ 23 は5、は7、は8、る、 わ3～か2、よ2～よ4 24 は2、に2、ほ、と～る4、 わ2 26 い、に～へ1、と、 ち2～ぬ、わ1～よ 27 い1、い2、は2、と～ぬ、 る2、か、よ、れ、つ、 な～お3 28 は2～ほ 42 い1～ほ 43 い～へ 44 い、ろ 45 い～へ 48 い1 64 い1、い2 65 い2～は					
		526.22	21 い2、い3、い5、い6、 に1～に5、ほ4、 へ～り、よ1 22 る2、る3、れ 23 は5、は7、は8、る、 わ3～か2、よ2～よ4 24 は2、に2、ほ、と～る4、 わ2 26 い、に～へ1、と、 ち2～ぬ、わ1～よ 27 い1、い2、は2、と～ぬ、 る2、か、よ、れ、つ、 な～お3 28 は2～ほ 42 い1～ほ 43 い～へ 44 い、ろ 45 い～へ 48 い1 64 い1、い2 65 い2～は					
	風致探勝 ゾーン	1056.88	21 い2、い3、い5、い6、 に1～に5、ほ4、 へ～り、よ1 22 る2、る3、れ 23 は5、は7、は8、る、 わ3～か2、よ2～よ4 24 は2、に2、ほ、と～る4、 わ2 26 い、に～へ1、と、 ち2～ぬ、わ1～よ 27 い1、い2、は2、と～ぬ、 る2、か、よ、れ、つ、 な～お3 28 は2～ほ 42 い1～ほ 43 い～へ 44 い、ろ 45 い～へ 48 い1 64 い1、い2 65 い2～は					

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自然休養 林	苗場		21 イ1～ロ2、ロ4～ハ2 22 ロ1、ロ2 23 イ 24 イ1～イ4、ニ 26 イ1～イ3 27 イ1～ハ 28 イ2、イ3 42 イ1、イ2 43 イ～ハ 44 イ 45 イ 47 イ1 48 イ1、ロ 64 イ		林地以外			
計	1 か所	2,139.93						

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自然観察 教育林	あさがい 浅貝	6.82	71 ハ	浅貝川左岸の平坦地に群生する湿原植物（ミズバショウ）の自然観察、自然探勝に利用されている	林地以外	実施主体：湯沢町 ・遊歩道	国が実施する施設整備の計画なし	
	田代平	103.76	213 ち	標高900mに位置し、湿原と周囲のブナ林がマッチし、調和のある自然美を呈している。 湿原は、ミズバショウ・ミズゴケ・モウセンゴケ等の湿原植物が多く見られ、登山、ハイキング等地元住民、小中高生等に自然探勝の場として利用されている。	天然生林施業	実施主体：新潟県 ・湿原木道 ・歩道	〃	
			213 ロ		林地以外			
当間高原	362.12	108 そ 109 ほ、ぬ 110 ほ2 112 と	ブナ、ミズナラを主体とした二次林であるが、比較的良好に自然が保たれている。 また、トウホクサンショウウオの生息地南限として学術的に貴重である。	育成複層林施業	実施主体：十日町市 ・歩道 ・ベンチ ・案内板 ・広場	〃		
105 い2、ろ2 106 る4、れ、め1、み、せ2 108 か2、よ2、た2、れ、つ、ね、な2 109 い、ろ、は3～に、へ～り、る、わ2、か2、よ2～ね 110 い2、へ2、わ2、か2 109 イ		天然生林施業		林地以外				

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 方 法	既 存 施 設 の 概 要	施 設 整 備	備 考
自然観察 教育林	浅草岳	28.87	217 る3、わ2	浅草岳北西山麓の比較的なだらかな斜面に位置し、ブナを主とする若齢の天然生林（一部、人工林）に囲まれており、湿原にはミズバショウ、ミズゴケ等の湿原植物が見られ、自然探勝・観賞等に適した地域である。	育成複層林 施業	実施主体：魚沼市	国が実施する施設整備の計画なし	
			216 り2 217 る2		天然生林 施業			
			217 ロ		林地以外			
計	4 か所	501.57						
森林スポ ーツ林	苗場ふれあ いの郷	10.18	89 ぬ	湯沢町が「苗場ふれあいの郷」の利用者と町民利用を兼ねた園地整備を行っている。	育成複層林 施業	実施主体：湯沢町 ・歩道	国が整備する施設整備の計画なし	
			84 い 89 り1、り2		天然生林 施業			
計	1 か所	10.18						
野外スポ ーツ地域	石打・丸山 スキー場	147.38	116 ろ2、ほ、わ2	大丸山の東面、標高400～900mに位置し、積雪及び雪質ともに良好で、地形は起伏に富み、初級から上級者まで利用できるスキー場である。	育成複層林 施業	実施主体：民間 ・リフト等 ・衛生施設 ・夜間照明施設 実施主体：南魚沼市 ・管理用道路	〃	
			115 よ2～よ5、れ1、れ2 116 は1～は3、へ～ち、 り2、わ1、か1～よ7		天然生林 施業			
			116 イ1～ロ		林地以外			

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野外スポーツ地域	苗場スキー場	248.88	71 ほ1～へ1、へ3～ち、ぬ～わ2、よ～つ	<p>筧山の東面の標高900～1,780mに位置し、民有地と一体利用を図るものである。</p> <p>積雪・雪質とも良好で、起伏に富んだ地形をなし、初級から上級者まで利用できるスキー場である。</p>	育成複層林施業 間伐面積 10.48ha	<p>実施主体：民間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフト等 ・時計台 ・管理用道路 ・その他施設 	国が実施する施設整備の計画なし	
			73 い2		天然生林施業			
			67 は3		林地以外			
			71 り、か、ね1、ね2					
			72 い2～い7、ろ2～は8					
			73 ろ2、は2、わ1、わ2					
			37 ハ					
			38 ロ					
			39 ロ					
			62 イ3					
			67 イ1、イ2、ハ2、ハ4					
			70 イ、ロ					
			71 ロ、ニ					
			72 イ1～ロ2					
			73 イ1、イ2、ロ2					
	田代原スポーツ林	685.37	31 い、に、ほ	<p>神楽ヶ峰東方の田代ダム周辺に位置し、積雪・雪質とも良好で、緩やかな地形を呈している。</p> <p>初冬から春遅くまで利用できるスキー場である。</p>	育成複層林施業	<p>実施主体：民間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフト等 ・展望台 ・無料休憩所 ・その他施設 <p>実施主体：湯沢町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道 	〃	
			36 は1～は6、は8		天然生林施業			
			28 い～は1		林地以外			
			29 い1～ほ					
			30 い1～り					
			31 ろ～は7、へ1～ぬ					
			32 り、ぬ					
			34 ほ					
			35 い7、い13					
			36 い4、ろ1～ろ5、は7、は9、に2～に8					
			37 ろ1～ろ11、に4					
			28 イ1					
			29 イ					
			30 イ、ロ					
			31 イ～ハ					
			35 ロ					
			36 イ1、イ2、ハ、ニ					
			37 ニ					
			83 ロ					
			93 ハ					

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
野外スポーツ地域	八海山 スキー場	192.33	169 い1～い5、い7～い9、 い11、ろ、は、と～ち3、 ち5～ち8	越後三山の一つである八海山の西方南面の標高500～1,100mに位置し、国有林野を主体に民有地と一体利用を図るものである。積雪が豊富で地形は変化に富み、中級者以上のスキーヤーに適するスキー場である。	育成複層林 施業	実施主体：民間 ・リフト等 ・水道施設	国が実施する施設整備の計画なし	
			169 い6、い10、い12、い13、 に～へ、ち4、ち9、 ち10、る3～か		天然生林施 業	実施主体：南魚沼市 ・歩道 ・その他施設		
169 ロ3、ハ1～ニ	林地以外							
	当間高原 スポーツ林	623.26	107 ら1～ら7、お1、お2、 ふ2 111 た1 112 ぬ1、ぬ2、ぬ4、 ぬ6～ぬ8 107 ろ～は2、ほ、へ、 ち1～ぬ、る2、よ～ つ、む1～う2、の、 や、ま3～ま5、け1～ ふ1、こ～き 108 ろ、は、ほ、と～り、 る1～わ1、ら～う2、 お、く、ま、ふ1～こ1 110 ろ、ほ1、ぬ、る1 111 わ2～わ6、よ1～よ3 112 い2、い3、は1、は3、 る1～る3	当間山の北方山麓の標高300～900mに位置し、民有地と一体利用を図るものである。積雪が豊富で、下部は緩斜面が多く、上部は比較的变化に富んだ地形を呈しており、冬はスキー場として、春の新緑から秋の紅葉時期は登山等、四季を通じて利用されている。また、峰筋を走る魚沼スカイラインからは魚沼三山や谷川連峰が遠望できる。	育成単層林 へ導くための施業（以下、育成単層林施業施業という。） 主伐面積： 3.28ha 育成複層林 施業 間伐面積： 22.28ha	実施主体：民間 ・リフト等 ・炭窯 ・その他施設 実施主体：十日町市 ・歩道	//	

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
野外スポーツ地域	苗場ふれあいの郷スポーツ林	4.28	88 わ	国道17号沿線にあり、標高は1,000mに位置し、夏季は冷涼であり、春から秋にかけての三季型の野外スポーツ林である。	育成複層林施業	実施主体：湯沢町 ・公衆トイレ ・駐車場 ・案内看板 ・登山道	国が実施する施設整備の計画なし	
			87 い2、い3		天然生林施業			
			88 ん、る2		業			
84 ハ	林地以外							
ガーラ湯沢スキー場		254.93	103 る1、る2	高津倉山の南北にまたがる区域で、標高370～1,181mに位置し、民有地と一体利用を図るものである。積雪・雪質とも良好で地形は変化に富み、初級者から上級者まで利用できるスキー場である。	育成単層林施業	実施主体・民間 ・リフト等 ・管理用道路 ・その他施設 実施主体：湯沢町 ・ゲレンデ	〃	
			100 ろ3、は4～は6		天然生林施業			
			101 い2～ち		業			
			102 ろ2、は2		林地以外			
			103 り2、ぬ、る3～そ					
			101 イ					
102 イ								
奥只見丸山スポーツ林		196.01	259 は1～は3	奥只見湖左岸にある丸山北面の標高720～1,240mに位置し、国有林野を主体としたスキー場である。12月上旬から6月上旬までの利用が可能であり、春スキーを特徴とするスキー場である。	天然生林施業	実施主体：民間 ・リフト等 ・歩道 ・管理用道路 ・その他施設	〃	
			260 ち1～ち3		業			
			261 い2～い11、い13～ろ1					
			262 い2		林地以外			
			259 イ1、イ2					
			260 イ1～イ3					
261 イ～ロ5								

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
	飯士高原 スポーツ 林	194.68	140 い、は、へ、と2、と 3 141 い、ろ、は2～は4、 は6、は7、は11、 に、へ、と、り、 ぬ、わ5、わ11～わ 13、か1、か2、よ1～ よ6、れ1～つ2、な～ む、の1～お1、く1、 け1、け2 140 ろ、と1 141 は1、は5、は8～は 10、は12、は13、 ほ、ち、る1～わ4、 わ6～わ10、わ14、か 3、た1～た11、ね、 う、ま1、ま2 141 イ～ニ4	湯沢町北東部の標高500 ～950mに位置し、民有 地の施設と一体的な利用 を図るものである。積雪 ・雪質とも良好で地形も 変化に富んでいる。夏季 はやや冷涼で、四季を通 じ利用される。	育成複層林 施業 天然生林施 業 林地以外	実施主体：民間 ・リフト等 ・管理用道路 ・水道施設	国が整備す る施設整備 の計画なし	
計	9か所	2547.12						

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
その他 (レクリ エーションの森施 設敷)	中之岳避難小屋	0.01	164 ロ	単独レクリエーション施設	林地以外	実施主体：新潟県 ・避難小屋	国が実施する 施設整備の計 画なし		
	八海山避難小屋	0.03	168 ロ1	〃	林地以外	実施主体：新潟県 ・避難小屋	〃		
	千本檜第二避難小屋	0.03	171 イ	〃	林地以外	実施主体：新潟県 ・避難小屋用便所	〃		
	女人堂避難小屋	0.02	169 イ	〃	林地以外	実施主体：民間 ・建物等	〃		
	巻機山避難小屋	0.01	149-1 イ	〃	林地以外	実施主体：南魚沼市 ・建物	〃		
	茂倉避難小屋	0.03	130 イ	〃	林地以外	実施主体：新潟県 ・建物	〃		
	蓬峠避難小屋	0.02	132 ハ	〃	林地以外	実施主体：湯沢町 ・避難小屋	〃		
	浅貝運動公園		12.79	71 〜2	〃	育成複層 林施業	実施主体：民間 ・サッカー場 ・テニスコート等	〃	
				71 イ		林地以外			
	保久礼避難小屋	0.02	204 イ1	〃	林地以外	実施主体：長岡市 ・避難小屋	〃		
キビタキ避難小屋	0.01	204 イ2	〃	林地以外	実施主体：長岡市 ・避難小屋	〃			
ネズモチ平展望台	0.16	216 イ	〃	林地以外	実施主体：魚沼市 ・展望台	〃			

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
その他 (レクリ エーショ ンの森施 設敷)	ネズモチ平駐車場	0.63	216 う	単独レクリエーション施設	林地以外	実施主体：魚沼市 ・駐車場等	国が実施する 施設整備の計 画なし	
	六方宿泊所	0.24	262 イ1	〃	林地以外	実施主体：民間 ・建物	〃	
	六方駐車場	0.10	262 ロ	〃	林地以外	実施主体：民間 ・駐車場	〃	
	六方キャンプ場	0.05	262 ハ	〃	林地以外	実施主体：民間 ・テントサイト	〃	
	東電小屋	0.38	277 イ	〃	林地以外	実施主体：民間 ・建物	〃	
計	16か所	14.53						
合 計	31か所	5213.33						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域
該当なし。

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年月	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
施業指標林	漸伐天然更新母樹 並びに小径木保残 作業指標林	昭和50年1月	21.96	15 い2、い3、 い5、い10	伐採から保育に至る 一貫した施業技術の 確立を目指し、施業 の指標とする。
	上部ブナ帯におけ る天然更新作業指 標林	平成4年3月	22.50	21 れ	上部ブナ帯における 天然更新技術の確立 を目指し、施業の指 標とする。
施 業 指 標 林 計			44.46		
試 験 地	ブナの天然林 施業試験地	昭和59年3月	2.21	17 い5、 23 は3、は5 27 は2	施業体系の検討、資 料の収集
	苗場山ブナ 天然更新試験地	昭和43年3月	22.50	21 れ	伐採率・林床処理別 更新試験
	オオシラビソ 天然更新試験地	昭和49年3月	0.20	26 わ2	雪田植生の生物多様 性動態調査
	ブナ天然林 標高別成長量 固定試験地	昭和49年3月	2.84	22 ほ2、ほ4	海拔高階ごとの極相 林生態系の物質代謝 実態調査
	〃	〃	0.70	22 ほ3	〃
	〃	〃	0.48	28ほ、30り、 32 ろ3	〃
	〃	〃	0.20	33 は	〃
	〃	〃	0.44	33 る、か	〃
	〃	〃	0.20	101 た	〃
試 験 地 計			29.77		
抵抗性検 定林	気象害抵抗性検定林 (耐寒雪)	昭和60年10月	2.18	91 は3	スギ (東耐雪前橋営2号)
	〃 (遺伝試験林)	平成9年9月	0.66	91 わ10(内)	スギ (東耐雪前橋営6号)
抵 抗 性 検 定 林 計			2.84		

種 類	名 称	設定年月	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
遺伝子保存林	スギ	昭和45年4月	0.22	92に3	
	〃	昭和43年10月	2.70	412 ね3	
	〃	昭和47年10月	2.74	412 な4	
遺 伝 子 保 存 林 計			5.66		
溪畔保全プロジェクト林	(設 定 河 川 等) 信 濃 川 (北 ノ 入 沢)	平成30年3月	(設定 延長) (m) 630	82 い1～は、 へ、 ち～る1、 た	
溪畔保全プロジェクト林計			(m) 630		
合 計			82.73 (630)		

(2) フィールドの提供

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
255 は1、は2、 に、ほ、 へ、と	ふれあいの森 (銀山平ふれあいの森)	設 定：平成13年1月 実施主体：魚沼市 面 積：34.49ha
84 ニ	ふれあいの森 (苗場ふれあいの郷)	設 定：平成15年6月 実施主体：三国地区森林づくり協議会 面 積：0.20ha
216 り2、 217 全	遊々の森 (浅草山麓遊々の森)	設 定：平成22年6月 実施主体：魚沼市 面 積：230.20ha

(3) 森林共同施業団地

名 称	対 象 地 (林小班)		面 積 (ha)	協定の概要
湯沢町水無地区森林共同施業団地	民		17	民有林と国有林を連結した路網の整備と相互利用による低コストで効率的な間伐等の実施 設定年月：平成26年3月 協定名：湯沢町森林整備推進協定 協定期間：令和5年4月～令和10年3月 協定相手方： <ul style="list-style-type: none"> ・湯沢町 ・新潟県南魚沼地域振興局 ・南魚沼森林組合 ・株式会社見晴屋林業
	国	96	87	
合 計	民		17	1か所
	国		87	

(4) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位	置	面積 (ha)	施業方法
84	ま1、ま2	10.52	育成単層林施業
1	る2、よ～た2、そ1、そ2、ね、う1	621.59	育成複層林施業
21	ろ、ほ3、る1、る2		
22	か、よ、そ、な、ら1		
81	い		
83	と2、ぬ～わ		
84	り～か		
88	い、は、ほ、ち、か、よ		
89	ろ、に、へ、ち、る、わ2、よ～た3、そ		
106	は2		
111	に1、ほ2、と1～と3、り2		
112	は2、は4、に1		
165	い～は、ち、ね、う、の2		
169	の1、く1、く2、ま		
216	ぬ～わ1、そ1、そ2、ね、ら、う、く		
218	ろ、へ1、へ2、ち～ぬ		
260	に		
261	へ		
301	ろ～に、へ		
302	る、む、の、く		
1	れ、つ、な～む、う2～お		
21	い1、い4、ぬ、わ		
22	た、つ、ね、む		
24	へ1		
26	へ2、ち1、る1、る2		
36	に1、ほ、へ		
72	い1		
83	ち		
84	よ		
88	ろ、に、り、る1		
89	い、ほ、わ1、れ		
106	い～は1、に～ち、り2、ぬ2、る1、る3、わ		
111	い、は1、は2、に2、ほ1、へ、ち、り1		
112	に2～ほ2、ほ4、へ2		
165	に～と、り～る1、る3～わ1、そ、つ		
166	い～へ、と2、と3		
169	よ、う1、う2、の2、お、や、け1、け2		
216	り1、り3、わ2、つ、な1～な3、む、の、お		
218	い、は～ほ、と		
260	ほ～と		
261	い1、い12、ろ2～ほ		
262	い3、ろ		
301	い、ほ		
302	り、ぬ、わ、ら、う、け、え、て、さ		
417	は2、は3、へ、と1		
424	ろ		

位 置	面 積 (ha)	施業方法
21 口3 24 口 36 口 67 口1、口2 84 イ 88 イ1、イ2 89 イ 100 イ 112 口2 165 イ3 166 イ1、イ2 169 口1、口7 216 イ 218 イ1、イ2 260 ハ 261 口6～ホ 262 イ2、イ3、ニ、ホ1 302 イ、口 417 イ1～イ3 418 イ1、イ2	125.65	林 地 以 外
計	2,384.4	

(注) (1)、(2) の箇所を除く。

附 属 参 考 资 料

(1) 国有林野の現況

① 担当区別の区域及び面積

(単位：面積 ha)

担当区	関 係 市 町 村	要 存 置 林 野		不 要 存 置 林 野 面 積	官 行 造 林 地 面 積
		面 積	関 係 林 班		
六日町	南魚沼市	18,709.38	113、114、142～172、500口	0.67	33.05
	小 計	18,709.38		0.67	33.05
倉 俣	十日町市	7,648.04	1よ～け、ロ、2～6、 7い3、は1～の2、イ、8ろ～ふ、イ、 9～15、102、103い1～り2、 104～112、301～304、601	0.69	—
	津南町	2,065.95	1い～か、イ1、イ2、 7い1、い2、ろ、8い、ロ、 305～312	—	84.25
	小 計	9,713.99		0.69	84.25
三 国	湯沢町	12,162.34	34～41、42い1～に、イ1、イ2、 43い～ほ2、ハ、44、45い～ほ、 46～95	—	—
	小 計	12,162.34		—	—
湯 沢	南魚沼市	521.37	115、116、 140に、ほ、と4～の1、お、く1、や1、 141よ4、よ6、た2、た6～ま1、ま3、 イ～ハ、ニ3	—	38.66
	湯沢町	13,209.92	16～33、42、ほ、43へ、イ、ロ、 45へ、イ、96～101、 103ぬ～そ、イ、117～139、 140い～は、へ～と3、の2、く2、 や2～え、 141い～よ3、よ5、た1、た3～た4、 た5、ま2、け1、け2、ニ1、ニ2、 ニ4、 500イ	—	—
	小 計	13,731.29		—	38.66
小 出	長岡市	—		—	44.16
	柏崎市	—		—	206.50
	十日町市	—		—	13.48
	魚沼市	21,783.52	231～277、279	1.01	—
	小 計	21,783.52		1.01	264.14
入広瀬	長岡市	2,189.15	201～204、280～283	—	—
	魚沼市	9,134.13	205～230、278	—	—
	小 計	11,323.28		—	—
森 町	三条市	14,607.43	401～437	—	28.28
	加茂市	2,131.72	438～441	—	—
	小 計	16,739.15		—	28.28
計		104,162.95		2.47	448.38

② 保安林、自然公園等の面積

(単位：面積 ha)

種 類	細 分	面 積	備 考
保 安 林	水 源 かん 養	74,329.33	
	土 砂 流 出 防 備	14,787.43	
	土 砂 崩 壊 防 備	28.87	
	干 害 防 備	1.05	
	な だ れ 防 止	266.04	
	保 健	2,298.38	
	計	89,611.26	
砂 防 指 定 地		134.08	
国 立 公 園	特 別 保 護 地 区	1,502.64	
	第 2 種 特 別 地 域	1,441.66	
	地 種 区 分 未 定 の 特 別 地 域	7,915.64	
	普 通 地 域	14,513.00	
	計	25,327.94	
国 定 公 園	特 別 保 護 地 区	3,435.77	
	第 1 種 特 別 地 域	8,811.78	
	第 2 種 特 別 地 域	13,567.72	
	第 3 種 特 別 地 域	5,930.37	
	計	34,745.64	
県 立 自 然 公 園	第 1 種 特 別 地 域	5,307.10	
	第 2 種 特 別 地 域	7,322.74	
	第 3 種 特 別 地 域	10,644.33	
	普 通 地 域	4,908.11	
	計	28,482.28	
県 自 然 環 境 保 全 地 域	特 別 地 区	325.50	
鳥 獣 保 護 区	特 別 保 護 地 区	4,129.03	
	特 別 保 護 地 区 以 外	51,705.25	
	計	55,834.28	
史 跡 名 勝 天 然 記 念 物		4,594.14	

(注) 保安林の「計」欄は保安林種ごとの重複関係を除く面積を計上した。

(2) 機能類型別の国有林野の現況

(単位：面積 ha、材積 m³)

機能類型 林種		山地災害防止タイプ						快適環境形成タイプ	
		土砂流出崩壊防備		気象害防備		計			
		面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
人工林	育成単層林	520.65	120,031			520.65	120,031		
	育成複層林	85.31	16,881			85.31	16,881		
	小計	605.96	136,912			605.96	136,912		
天然林	育成単層林								
	育成複層林	180.07	21,728			180.07	21,728		
	天然生林	11,886.14	1,244,201			11,886.14	1,244,201		
	小計	12,066.21	1,265,929			12,066.21	1,265,929		
無立木地									
竹林									
林地計		12,672.17	1,402,841			12,672.17	1,402,841		
林地以外		1,876.82				1,876.82			
合計		14,548.99	1,402,841			14,548.99	1,402,841		

(単位：面積 ha、材積 m³)

機能類型 林種		水源かん養タイプ		自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		合計	
		面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
人工林	育成単層林	2,935.31	636,240	0.47	353	582.91	129,778	4,039.34	886,402
	育成複層林	605.91	117,532	1.90	237	532.94	97,510	1,226.06	232,160
	小計	3,541.22	753,772	2.37	590	1,115.85	227,288	5,265.40	1,118,562
天然林	育成単層林								
	育成複層林	898.28	114,609	8.24	880	207.78	25,384	1,294.37	162,601
	天然生林	20,247.12	2,083,323	45,100.70	2,927,211	5,459.48	646,476	82,693.44	6,901,211
	小計	21,145.40	2,197,932	45,108.94	2,928,091	5,667.26	671,860	83,987.81	7,063,812
無立木地		26.08						26.08	
竹林									
林地計		24,712.70	2,951,704	45,111.31	2,928,681	6,783.11	899,148	89,279.29	8,182,374
林地以外		901.74		11,095.54	200	1,009.56	4,880	14,883.66	5,080
合計		25,614.44	2,951,704	56,206.85	2,928,881	7,792.67	904,028	104,162.95	8,187,454

(3) 林道等の現況

(単位：km)

区 分	林 道			林業専用道
	自動車道	軽 車 道	合 計	
延 長	150.45	—	150.45	7.04

(4) 収穫予想表

33 ページ以降に示すとおりである。

森林調査簿の地位級と収穫予想表の地位との対比

収 穫 予 想 表 の 地 位	森 林 調 査 簿 の 地 位 級		
	ス ギ	カ ラ マ ツ	そ の 他 N・L
1	10 以上	6 以上	3
2	7～9	5 以下	2
3	6 以下	—	1

(5) 地元施設等の現況

(単位：ha)

区 分	分収造林契 約に基づく 分 収 林	分収育林契 約に基づく 分 収 林	共 用 林 野			
			普 通	薪 炭	放 牧	合 計
面 積	111.59	136.29	39,877.97	—	—	39,877.97

貸 地					
植 樹 用 地	農 耕 用 地	鉱 業 用 地	道 路 用 地	水 路 用 地	電 気 事 業 用 地
—	0.07	22.35	93.77	6.65	183.04

貸 地					
温 鉱 泉 用 地	学 校 用 地	採 草 放 牧 地	建 物 用 地	そ の 他 貸 地	合 計
0.50	—	—	4.27	606.84	917.49

収穫予想表

樹種 針葉樹

林級	地位 2				林 年
	主 副 林 木 合 計				
	1ha当り			成 長 率 %	
幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³			
I					5
II					10
III	16		1.1		15
IV	25	1.8	1.3	9.3	20
V	35	2.0	1.4	7.0	25
VI	46	2.2	1.5	5.6	30
VII	59	2.6	1.7	5.1	35
VIII	72	2.6	1.7	4.1	40
IX	86	2.8	1.8	3.6	45
X	100	2.8	1.9	3.1	50
X I	112	2.4	2.0	2.3	55
X II	124	2.4	2.0	2.1	60
X III	136	2.4	2.1	1.9	65
X IV	146	2.0	2.1	1.4	70
X V	156	2.0	2.1	1.3	75
X VI	164	1.6	2.1	1.0	80
X VII	172	1.6	2.0	1.0	85
X VIII	179	1.4	2.0	0.8	90
X IX	186	1.4	2.0	0.8	95
X X	193	1.4	1.9	0.7	100
X X I	199	1.2	1.9	0.6	105
X X II	204	1.0	1.9	0.5	110
X X III	208	0.8	1.8	0.4	115
X X IV	211	0.6	1.8	0.3	120

※成長率はライブニッツ式を用いて算出

樹種 広葉樹

林級	地位 2				林 年
	主 副 林 木 合 計				
	1ha当り			成 長 率 %	
幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³			
I					5
II	6		0.6		10
III	11	1.0	0.7	12.9	15
IV	18	1.4	0.9	10.4	20
V	27	1.8	1.1	8.4	25
VI	37	2.0	1.2	6.5	30
VII	48	2.2	1.2	5.3	35
VIII	60	2.4	1.4	4.6	40
IX	72	2.4	1.5	3.7	45
X	84	2.4	1.6	3.1	50
X I	95	2.4	1.6	3.1	55
X II	106	2.2	1.7	2.5	60
X III	117	2.2	1.7	2.2	65
X IV	128	2.2	1.8	2.0	70
X V	138	2.2	1.8	1.8	75
X VI	147	2.0	1.8	1.8	80
X VII	155	1.8	1.8	1.3	85
X VIII	162	1.6	1.8	1.1	90
X IX	168	1.4	1.8	0.9	95
X X	173	1.2	1.8	0.7	100
X X I	177	1.0	1.7	0.6	105
X X II	180	0.8	1.7	0.5	110
X X III	182	0.6	1.7	0.3	115
X X IV	184	0.4	1.6	0.2	120

樹種 広葉樹(ぼう芽)

林級	地位 2				林 年
	主 副 林 木 合 計				
	1ha当り			成 長 率 %	
幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³			
I					5
II					10
III	10		0.7		15
IV	19	1.8	1.0	13.7	20
V	30	2.2	1.2	9.6	25
VI	41	2.2	1.2	6.4	30
VII	52	2.2	1.4	4.9	35
VIII	63	2.2	1.5	3.9	40
IX	74	2.2	1.6	3.3	45
X	82	2.2	1.6	2.1	50

※成長率はライブニッツ式を用いて算出